

記者発表（配付）資料

平成 22 年 4 月 1 日

所属部課	館 長	主席学芸員	統括学芸員	担当	連絡先
総合政策部 萩博物館	高木 正熙	樋口尚樹	清水満幸	堀 成夫	0838-25-6447

件 名	全国に多発中の深海魚「竜宮の使い」、萩市江崎にも出現
-----	----------------------------

まぼろしの魚といわれる「リュウグウノツカイ」が 4 月 1 日、萩市江崎沖で捕獲されました。この魚は最近全国的に多発しており、その原因の解明が望まれます。

■ 経 緯

採集地：萩市 江崎沖

採集日：平成 22 年 4 月 1 日

採集者：島田 清氏（船名：美沙丸）

経 緯：江崎の入江に入ってきたところを、島田氏が捕獲して山口県漁協江崎支店に持ちこみ、その後萩博物館に寄贈。

大きさ：全長 400mm、体高 28cm（重量は不明、20～30kg とと思われる）



■ リュウグウノツカイとは

太平洋～インド洋の水深 200～1000m の中層にすむ深海魚。長さ 5～10m にもなる「世界最大の硬骨魚」。独特の神々しい容姿をもち、嵐の後などにまれに海上に姿を現すため、「竜宮城からの使者」になぞらえられたり、日本の人魚伝説のモデルとも考えられています。

■ 今回の出現について

10 年に 1 度見られるか分からない「まぼろしの珍魚」ですが、昨年末～現在にかけ日本列島の日本海側に 30 件以上も同時多発的に出現しており、天変地異の予兆ではないかと噂されていますが関連性は分かっていません。

萩をふくむ北長門海岸での出現は約 70 年前から今回で通算 9 回目となります。最近では 1 月 29 日にも長門市青海島に漂着しており、全国的に生じている多発現象と一連のものである可能性があります。